２０１４ 年 秋 学 期

KCJS ニュースレター

第７号

日本に来てびっくりしたことベスト３

KCJS26 秋学期 B クラス代表　アンディー・ケーザマン（マカレスター大学）

留学生の生活には色々なおもしろいことがありますが、留学の経験で、一番面白くて、分かりやすいことは文化的なことだと思います。KCJS の学生の中には日本に来たことがある学生もいるし、初めて来た学生もいます。私たちは、B クラスのプロジェクトとして、他のクラスの学生の「日本に来てびっくりしたことベスト３」を調べてみました。

初めは A 組です。A 組の学生に「日本に初めて来た時、どんなことにびっくりしましたか？」と聞いた時、こんな答えが出てきました。第３位のびっくりは安い食べ物が見つけやすいことです。次は公衆トイレにタオルがないことです。第１位は、日本人の子供たちが一人で学校に行くことでした。

C-1 組も、同じような答えでしたが、他の答えもありました。C-1 組の第３位の答えは日本人の子供たちが一人で電車に乗れることです。A 組と同じことを考えていますね。

次は日本人の子供がどこで寝るかということです。たとえば、子供たちは９歳か 10 歳まで、ご両親と一緒に寝ていますから、これを見たら、ちょっとびっくりしたそうです。C-1 組の学生のびっくりしたこと第１位は、日本のトイレは色々なことが出来ることです。つまり、多機能トイレですね。

写真：ジャレッド・スロースキー（ミシガン大学）

次は C-2 組です。第３位は、大学に入った後で、大学の勉強に精を出さなくてもかまわないことです。たとえば、日本の大学生にとってはサークルに入ることのほうが勉強より大切なようです。第２位は、レストランなどの皿のサイズが小さいことです。そして１位は電車がいつも時間通りに来ることです。最後は D 組の答えです。D 組のびっくりしたこと第３位は小さな子供たちが、一緒にお風呂に入りたがることです。第２位はサンドイッチにポテトサラダが入っていることです。そして、第１位は他のクラスでも出てきましたが、日本人の子供たちが一人で行動することです。

このように、留学生のみんなは日本に来て、色々なことにびっくりしたようですが、一番多いびっくりしたことは日本人の子供たちの生活についてです。他の国の交通手段に比べて、日本は電車が一般的で、安全ですし、朝の電車に乗ってる小学生をたくさん見られます。日本にいる時間が長くなるにつれて、ドンドン日本の生活に慣れていきますが、３ヶ月いても、まだびっくりすることがあります。日本での経験のおかげで、KCJS のみんなは面白くて、楽しい話をアメリカに持って帰ると思います！

お知らせ

KCJS の Facebook ページができました

ぜひ「いいね！」をして下さい！
https://www.facebook.com/KCJS.Japan

Find us on Facebook

KCJS サマープログラム 2015

申し込み締切：2015 年 1 月 30 日（金）

申し込みサイトへのリンクや、最新情報は
http://www.kcjs.jp/summer_programs/
をご覧ください！

ホストファミリー

三つの違うホストファミリー、一つの素晴らしい留学生活

アレハンドロ・ルイゼスパルザ（スタンフォード大学）

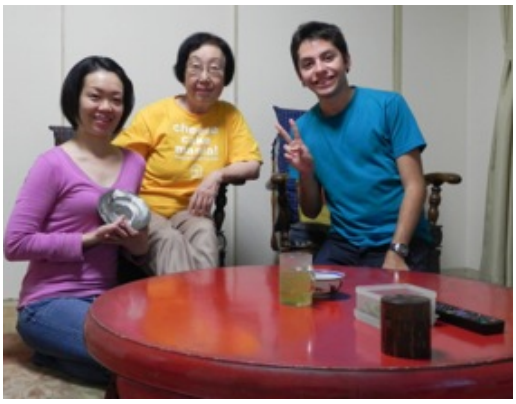
日本を経験するためにはホストファミリーと住むのが最高だと思う。日本に来た時からずっとホストファミリーのおかげで私の留学生活は素晴らしい。そして三つの違うホストファミリーの家に住んだ私の経験は特別だろう。

一番初めは鴨川に近いマンションにお母さんと住んでいた。毎日、京都の情報を教えてくれて、面白い所を見せてくれた。例えば、私が折り紙とお茶が大好きなので、武藤さんは「一保堂」と「紙司柿本」のことを教えてくれた。そして、私がランニングをするから、時々お母さんは一緒に走ってくれた。私は足で走ったけど、お母さんはオートバイで走った。

岡山旅行に行った時は、卜部さんという家族の家に泊まった。ベトナム人のお母さんと日本人のお父さんと妹が二人いる。この家族もすごかった。最初の日は妹の学校で運動会があったので私を誘ってくれて、次の日は皆で鞆の浦に行った。すごくきれいだったし、本当に楽しかった。最後の日は味噌のイベントに一緒に行って、色々な味噌の物を食べた。

今は城陽市にある岩見さんという家族の家に住んでいる。家にはお母さんとお姉さんがいて、この家族も素晴らしい。いつも優しくて、お母さんの料理はいつも芸術みたいだ。岩見さんの家族は私の最後のホストだけど、すごい家族だから本当に嬉しい。

全部のホストファミリーのおかげで、僕はこの留学生活を決して忘れないだろう。ホストファミリーの皆さん、お世話してくださってありがとう。



写真：アレハンドロ・ルイゼスパルザ（スタンフォード大学）

写真：アレハンドロ・ルイゼスパルザ（スタンフォード大学）

写真：アレハンドロ・ルイゼスパルザ（スタンフォード大学）

ホストファミリー

ショーナ・ムーア　（シカゴ大学）

私は家村さんの家に来させてもらって、家村家の皆さんが私を暖かく迎えてくれたので、くつろぐことができた。初めてお母さんに会った時、テンションが上がって緊張していた。けれども、お母さんは笑顔だったので、緊張がほぐれた。お母さんは政治とか政府とか色々なことを話し合う時、簡単な表現を使って意見を説明してくれる。私はいつも会話でバカな間違いが多くて、そのことを改めて思い出すと恥ずかしくなってしまう。でも、私がすごく簡単な言い方しかしていないにもかかわらず、お母さんは私の気持ちを分かってくれると思う。

私は気をつけていたのにこれまでに二回も病気になってしまった。私の世話のせいでお母さんは手いっぱいだ。いつもニコニコして、弱っている私の部屋にお茶を持って来たり、そこで私と話したりしてくれた。親切に対してお礼の申し上げようもない。

お父さんも本当に心優しい人だ。いつも頑張っていて笑ってくれて、疲れていても皆にちょっとした冗談を言ってくれる。弟さんも本当にすごいと思う。お母さんと一緒に一生懸命勉強しているそうだ。私も頑張りたくなった。皆さんに会えて本当によかった！家村の家にいれば、万事がうまくいくだろうと思う。

私のホストファミリー

ミシェル・リー（ボストン大学）

私の日本のホストファミリーは 59 歳の女性一人だけだが、彼女と一緒にクラスのは非常に楽しい。毎週末、私はホストファミリーのお母さんと一緒に朝散歩をして、近所を探索する。朝は大変綺麗な景色が見えるし、静かなので、気持ちがいい。そして、時々、散歩の後でカフェに行って、朝ご飯を食べる。

お母さんは私を色々な所に連れて行ってくれた。ある時は、金閣寺に一緒に行った。その日の天気は晴れだったので、金閣寺がキラキラして見えて、非常によかった。別の時には家の近くにある山に上った。かなり大変だったが、山から見た景色は本当にすごかったので、それだけの価値があった。そして、また別の機会には、お母さんは清水寺に連れて行ってくれた。お母さんの好きなそば屋さんに行って、大変おいしいそばを食べた。それから、周りの店を見に行って、祇園に行った。その日もとても楽しかった。

今月、お母さんは大変忙しかったので、あまり一緒に行動しなかったが、来月の秋休みに奈良県に行くつもりだ。法隆寺や他のお寺に行って、おいしい食べ物を食べようと思っている。そして、暇な時、京都の博物館に一緒に生きたいと言っていたので、多分秋休みに行くと思う。

このホストファミリーにお世話になることができて、本当によかった。お母さんはすごく優しくて、面白い人なので、一緒に暮らすのは非常に楽しい。

ホストファミリーと　～能楽おもしろ講座体験～

ホストファミリーと学生が、河村能楽堂で能楽体験！「高砂」の謡、小鼓や大鼓をお稽古していただいたり、舞台に上がって、すり足の体験や面の体験もさせていただきました。世阿弥生誕650年の年にふさわしい KCJS イベントでした！

大鼓を体験するアンドリュー・プロブステル（ブラウン大学）と、
小鼓体験をしたばかりのヘレン・ロルフ（コネチカット大学）

能のかまえで、すり足を体験

ボケとツッコミ

ジョン・ライオンズ（ハミルトン大学）

A：オレ最近チャリが気になってんねん。
B：へー、ほんま。オレは今ぶどうにめちゃはまってる。偶然やね。
A：どこが偶然やねん。
B：だって両方果物やろ？
A：なんでやねん！チェリーちゃうで、チャリやアホ！

グレース・シュ（ペンシルバニア大学）

A 子：（カラオケで）あ、どうしようかな。ポップ、ロック、えんか... あっ！演歌（えんか）でええんか？
B 子：サッブー。アニメのテーマはどう？
A 子：え？もう J ポップに決めたけど。
B 子：ほんだら聞くな！

エウゲニ・テムチェンコ（ボストン大学）

A：昨日な、チャリでめっちゃ速い人見たわ。
B：へー、そうなんや。
A：新幹線かと思ったわ。
B：なんでやねん！そんなわけあるか！

ミシェル・リー（ボストン大学）

（動物園で）
A：うわ～パンダでかいなー！
B：ね、ね、知ってる？
A：何、何～？
B：パンダの好きな食べ物はパンだ！
A：お前は小学生か！

コムキ（イェール大学）

A：砂糖買ってきて。
B：わかった。ほな、行ってくるわ。
（１５分後）
B：佐藤さんはダメだって。
A：確かに、人身売買は違法行為だ... って、なんでやねん！料理を作るための砂糖や！

カサリン・アレクサンダー（コネチカット大学）

A：ハロウィンは何に仮装したらいいかな？魔女か化け物？どっちの方がいいかなあ。
B：化け物のほうが似合うと思う。
A：そっか。やっぱり魔女にするわ。
B：ほんだら聞くな！

ロザリー・ガイ（シカゴ大学）

A：ね、あれ、知ってる？
B：えっ、何？
A：あの最近人気のアイドルグループ。
B：いや、いっぱいあるけど、どれ？
A：え、何ていうんだったっけ... あれだ！会社テーマのやつ！関パニー∞！
B：あほか！関ジャニ∞やろ！

イフェ・サムズ（ビンガムトン大学）

A：大学の時、西俣先生をはじめ、色々な先生たちにお世話になりましたね。
B：うん、なったね。
A：先生たちえらいね。
B：えらいな。
A：じゃあ、俺先生やるから、お前生徒やって。
B：はい。（B は A をハグする）
A：なんでやねん！
B：何？あれって冬に体を暖めるものやろ？
A：せやな、確かに暖かかったなぁ～ってお前セーターか！生徒やって、生徒。
B：はい。先生、先生！
A：はい。何でしょうか。
B：田中くん、トイレで自分の体を半分流しちゃって大変なことになってるんで、消防署を呼んでいただけないでしょうか。
A：そんなわけないやろー！先生のえらさに関して何か聞いてよ！
B：あぁ、はい。先生！
A：はい、何でしょうか。
B：先生って、えらいですね！
A：そのまんまやないかー！
B：先生はえらいと聞きましたけど。
A：えぇ、そんなことないですよ～。
B：でも、週末えらい趣味をやっていらっしゃると聞きましたけど。
A：あぁそう？どういうことですかね？
B：だって、毎週森の中で熊とボクシングやってはるんでしょ？
A：そんなわけないやろー！
（冷たい風が吹いてきた）
A：ちょっと寒くなったね！俺、先生やるから、お前セーターやって。
B：なんでやねん！

岡山旅行

ホール・ライアン（ペンシルバニア大学）

岡山の旅行の前に、実は私は行きたくなかったです。新しいホストファミリーに会う代わりに、京都の家にいて映画を見たかったですが、岡山のホストファミリーと会った後で、気持ちが変わりました。お母さんとお父さんと兄弟はやさしくて素晴らしくて日本人らしいと思いました。この週末を絶対忘れません。

岡山の旅行の時、一番面白かったのは日本人のおもてなしでした。おもてなしの素晴らしさに僕はびっくりしました。実にホストファミリーのやさしさが色々感じられました。まず、毎日ホストファミリーは私のために楽しいことを計画してくれました。例えば、土曜日の朝、お母さんとお父さんが私を倉敷に連れて行ってくれました。この名所で、両親がお金を払ってくれて、私は一人で人力車に乗りました。素晴らしい経験だと思いました。

それに、黍団子とアメリカの家族のためにお土産を買ってくれました。十二支の犬とせんべいと女の子のアクセサリーと魚みたいな味の食べ物も買ってくれました。女の子のアクセサリーと日本風のタオルはアメリカの家族のお土産です。お土産をもらった時、僕は驚いて、「どうもありがとうございます」と言って、お礼をしました。その後で、お母さんが私と兄弟を温泉に連れて行ってくれましたから、二回目の温泉の経験が出来ました。温泉だけではなく、韓国料理のレストランにも行きました。ご飯はめっちゃおいしかったです。それに、レストランで家族のクラリネットが上手なお姉さんにも会いました。

ホストファミリーは私においしい食べ物をたくさん作ってくれました。例えば、金曜日、一緒に晩御飯としてたこ焼きを作って、作りやすかったですから、私は上手に出来たと思いました。後で、りんごと梨のデザートを食べました。京都に帰った後で、僕の経験について色々考えました。岡山のホストファミリーのおもてなしはとってもよかったです。とても有難いです。速く岡山に帰ってもう一度ホストファミリーと楽しみたいです。

ディラン･マニング（バッサー大学）

岡山にいるときの、一番楽しい経験はお神輿をかついだことです。岡山のホストファミリーの家族は、お母さんとお父さんとお兄さんがいます。土曜日に、人気があるマッサンというテレビ番組のさつえいがあった竹原というところから帰った後で、五時ごろお兄さんと一緒に祭りに行きました。そこで、他の留学生と会いました。ジャレドとかアンドリューとかジャックとかアンディーと会いました。最初、お兄さんと祭りを歩き回りました。たくさん売店を見たり、神社のかねをついたり、おみくじをもらったりしました。私のおみくじはえんぎがわるいって書いてありました。すぐにだれかわたしをうらぎると書いてありました。わたしはまだうらぎられていませんが、けいかいしています。その後で、おみこしの所に行きました。たくさんの男の人がいて、はっぴという和服をもらいました。他の男の人が私に酒をくれました。後ほど、始まる時間でした。おみこしを一緒に持ち上げて、かたにかついで、祭りのほうこうに向かって歩きました。二十五人ぐらいといっしょにおみこしをかつぎました。おみこしはとても重かったです。大変でした。全部で、十五分か二十分ぐらいかつぎました。お神輿の後で、お兄さんと一緒に色々な売店に行ってたくさん食べ物をたべました。たこてんとかやきそばとかたいやきを食べました。おいしかったです。まつりとおみこしはとても面白くて楽しい経験でした。最初、大変そうだから、おみこしをしたくありませんでした。でも、しなかったら、こうかいすることが分かっていました。やっぱりやってよかったです。みなさんも、おみこしを少なくとも一回するべきです。

写真：ジャレッド・スロースキー（ミシガン大）

写真：ジャレッド・スロースキー（ミシガン大）

ステファニィ　コントレラス（ウェルズリー大学）

こんにちは！私は岡山でトヨタさんご家族の家にとまりました。ご家族はお父さんとお母さんと二人の娘さんがいます。土曜日が一番面白かったです。午前、こうこうがくえんのうんどかいへいきました。岡山のホストファミリーのお父さんとお母さんと一緒にいきました。一人のむすめさんが出ていたからです。娘さんは百メートルのレースをしました。”行け、行け、行け、しょうこ！” と応援しました。しょうこさんが勝ちました。本当に楽しかったですけど実はこれが一番楽しかったことじゃありませんでした。一番楽しかったことは、うんどうかいの後で7時ごろに晩ご飯を食べに行ったことです。みんなでやき肉レストランで食べました。このレストランはお母さんのご両親のレストランです。私は全部のたべものをたべられましたからびっくりしました。例えば、ラムネとビールを飲んだり豚肉と牛肉ととりを食べました。うれしかったです。岡山でやき肉が一番おいしかったと思います。食べ終わった後で、私達は2時間ぐらい話しました。日本とアメリカで違うことについて話しました。例えば、アメリカで消防団の人はすごい人だと考えられているけど日本で消防団の人はあまりすごくない人だと考えられています。日本人はサラリーマンがすごい人だと考えています。これが面白かったです。次の日が帰る時でした。私は岡山のホストファミリーにきび団子をもらいました。ありがとうございます！京都に来てから岡山旅行が一番楽しかったです。

蜂蜜ソフトクリームを食べてみませんか

ヘレン・ロルフ（コネチカット大学）

ソフトクリームなどのデザートは、本当に甘いので、食べ過ぎたら多分気分が悪くなる。でも、今日、ご紹介する蜂蜜のソフトクリームは大きすぎず、小さすぎず、ちょうどいい。

もちろんそのソフトクリームは蜂蜜の味がする。その他に、色々なシロップもソフトクリームの上にかけられる。たとえば、私はブルーベリーのハニー・ソフトを食べたが、メープル・ハニーとラズベリー・ハニーもとてもおいしそうだった。カップまたは、コーンを選ぶだけで、簡単に注文ができた。

この蜂蜜のソフトクリームは、錦市場の中にある「杉養蜂園（すぎようほうえん）」という店で買える。この「杉養蜂園」という会社は、京都市の中京区にもお店がある。蜂蜜のソフトクリームの値段は400円ぐらいで、自分へのご褒美にいいと思う。

「杉養蜂園」は、素晴らしい会社だと思う。九州の熊本県に百カ所の養蜂場があるそうだ。どうして杉養蜂園本社が熊本にあるのか。ウェッブサイトによると、熊本県は一年中、色々な花が咲く。だから、熊本県で最高の蜂蜜が作られるのだそうだ。

皆さんは今年の９月の経験から京都の夏の暑さをよく知っているはずだ。蒸し暑くても冷たいソフトクリームを食べれば、すぐ気持ちがよくなる。また天気が暑くなったら、蜂蜜のソフトクリームを是非おすすめしたい。

写真：ヘレン・ロルフ（コネチカット大学）

写真：ジャレッド・スロースキー（ミシガン大学）

春学期学生賞　発表

先学期の学生賞の受賞者は、
以下のみなさんです。
おめでとうございました！

①日本語をよく使っているで賞
キャサリン・エーカーさん
（ウェズリアン大学）

②日本の社会によくとけ込んでいるで賞
マルコム・マッキニーさん
（コーネル大学）

③KCJS 所長賞
アレクサ・バンデマークさん
（エモリー大学）

④理事会賞
バネッサ・テナザスさん
（ジョージ・ワシントン大学）

こたつ

趙マン（コルビー大学）

11月7日は立冬です。立冬というのは、冬の始まりです。

日本に留学する前に、日本にはセントラル・ヒーティングがないことを知っていましたが、全部の家にエアコンがあると思っていました。今年の1月に、東京に1ヶ月に住んでいた時、毎日エアコンを使っていました。空気は少し乾燥しましたが、部屋は暖かかったです。私の出身地は中国の北部で、大学もアメリカの東海岸のメイン州にありますから、寒冷な気候に慣れているし、エアコンさえあれば日本の冬は大丈夫だと思っていました。しかし、予想に反して、京都のホストファミリーの私の部屋には、エアコンがありませんでした。

秋休みの前、京都の有名な寒さを感じ始めました。部屋の外が部屋の中より、暖かかったほどです。毎日、朝起きることが一日の中で一番大変なことです。最後の1分まで 体を布団の中で丸くしています。頭を少し布団から出すと、「無理だ。学校に行きたくない…もう5分寝たほうがいいよ」と思って、自然に頭が布団に戻ってしまいます。全然起きられません。宿題をする時も、部屋は手の指を感覚がなくなるほど寒いです。

「まだ秋でもこんなに寒いのに、冬はどうなるんだろう。エアコンがなくて、ホストのお母さんはどうやって毎日6時に起きられるの？」と文句をホストのお姉さんに言いました。

「じゃ、こたつを使えばいいよ」

こたつというのは、普通のテーブルの下にヒーターが入っていて、その上に布団を置いて、座る時足を布団でおおえるようになっているものです。アニメとドラマで、家族が一緒にこたつに入って、蜜柑を食べながら、テレビを見るというようなエピソードを見ました。アニメとドラマの中のこたつは、不思議な存在です。暖かいし、気持ちいいし、こたつに入る人はこたつを出られません。ずーっとこたつの中にいて、欲しい物は全部こたつを出ないで、手で取れる範囲に置かれます。布団がありますから、たくさん人はテレビを見て疲れた時、こたつの中に全身を入れて、寝ます。ニコニコ大百科の中に、こんなこたつ中毒の人は「こたつむり」というと書いてあります。

私はこたつの怖さを知っています。自分が毎朝「布団むり」のような人ですから、絶対に「こたつむり」になれると思いますけど、私は今日から京都の寒さに負けてこたつを使い始めました。ホストのお母さんが秋休みの時こたつを組み立ててくれたんです。今日、東京から家に帰ってきて、こたつに入って、やっぱり、幸せだなあと思いました。おいしい蜜柑を食べて、好きなアニメを見て、旅行で疲れた身体がリラックスできました。

もし学校に来なかったら、私はもう炬燵と一体化して生活していると思ってください。

☜Arts of Japan の field trip
（ペンシルバニア大学デイヴィス先生）
三十三間堂にて

☞
Post-war Japanese Cinema and Visual Culture
(ペンシルバニア大学デイヴィス先生)
クラス写真

秋学期学生賞　中間発表

学生たちによる中間投票の結果、
以下の学生が現時点で
１位から３位に選ばれています。

①日本語をよく使っているで賞
イフェ・サムズさん
（ビンガムトン大学）
ミシェル・リーさん
（ボストン大学）
アンドリュー・ケーザマンさん
（マカレスター大学）

②日本の社会によくとけ込んでいるで賞
アンドリュー・ケーザマンさん
（マカレスター大学）
アレハンドロ・ルイザスパルザさん
（スタンフォード大学）
イフェ・サムズさん
（ビンガムトン大学）

学期末の本投票で選ばれた人には、
賞金が出ます。

KCJS2014 秋学期 同志社大学今出川キャンパスにて

KYOTO CONSORTIUM
FOR JAPANESE STUDIES
京都アメリカ大学コンソーシアム

通年／学期プログラム　ウェブサイト：http://www.kcjs.jp/
サマープログラム　ウェブサイト：http://www.kcjs.jp/summer_programs/